

## From Ibigawa SABO

### 仮締切堤が完成へ =高地谷=

昨年8月から工事を進めてきた高地(たかち)谷【揖斐川町小津】において、予定していた工事内容がいよいよ完成します。今回の工事は、砂防堰堤本体の施工に向けて、高地谷の流水を転流トンネルへ切り回すための仮締切堤と、林道の付け替え工事の一部が行われました。

二次仮締切堤の施工にあたっては砂防ソイルセメント工法(INSEM工法)を採用しました。現場で発生する土砂にセメントをまぜて攪拌したものを堤体材料として使用し、従来であれば土捨て場等に捨てていた土砂を有効利用しました。これにより土砂を処分する費用や、コンクリート構造による仮締切堤よりもコストダウンを図ることができました。



完成間近の仮締切堤

#### 現場代理人の声



現場代理人  
高木 良祐さん

今回の施工は、工事着手直前に台風の影響で林道の路肩が崩落し一部中止となり、冬には、積雪が多いため除雪作業が中心となってしまい、なかなか本施工に取りかかれませんでした。工期終盤になり作業員共に大変苦労して作業をしています。

残りもわずかですが無事故無災害で頑張ります。

### 安全利用点検による補修が完了

4月18～19日に実施した砂防施設の安全利用点検において、補修が必要と判断した箇所について、補修を順次進めてまいりましたが、このほど補修作業が完了しましたのでお知らせします。



鶯巣谷第1砂防堰堤  
老朽化した鎖を取り替えました



赤岩谷第1砂防堰堤  
開口部の転落防止措置を実施しました

### 岐阜県政記者クラブ調整会議を開催

越美山系砂防事務所では、木曾川上流河川事務所、岐阜国道事務所と合同で5月22日に岐阜県政記者クラブの記者との調整会議を開催しました。

当事務所からは事業概要を説明し、防災や環境への取り組みなどを紹介しました。記者の方からは天然ダムや砂防堰堤を活用した小水力発電に対する質問が出るなど、活発な意見交換がなされ、砂防事業に対する理解を深めていただきました。



調整会議の様子

### 藤橋城と日食



5月21日に観測された世紀の天体ショー「金環日食」ご覧になりましたか。揖斐川流水対策工事の監理技術者 増元さんから、現場近くの藤橋城【揖斐川町鶴見(つるみ)】と日食を納めた写真を提供していただきました。

なお、藤橋城(西美濃プラネタリウム)は投影機を更新して4月28日にリニューアルオープンしています。



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。

発行 国土交通省中部地方整備局  
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所  
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3  
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626  
E-mail: ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp